

2019年 第11回 NS物流研究会「テーマと概要」

2019. 11. 16

東京海洋大学越中島キャンパス越中島会館講堂

NO.	学校名	テーマ	概要
1	同志社大学	京文化のマーケティング	観光地である京都で必要な物流サービスとは何かを研究し、新たな物流サービスの提供を提案する。
2	朝日大学	トラック事業における新しい駐車形態に関する研究	配送ドライバーが店着時間の「定時性」を守るため、納品先の近くに待機する現状が見受けられる。路上駐車は、近隣住民への迷惑や駐車違反などの問題を発生させるため、路上以外の待機場所を探す必要がある。待機場所の一つの候補が、コンビニ駐車場である。本研究では、配送時の待機場所として、コンビニ駐車場が有効かどうか、コンビニ店舗の駐車場スペースの数や大きさ等からその可能性を明らかにする。
3	関西大学	中小運輸業者の新卒採用への試み	今までドライバーの採用を中途採用でしか行ってこなかった大阪府のある中小運輸業者を焦点に当て、新たな試みである新卒採用を成功させるにはどのような体制の変革、新たな見地が必要であるかを研究。
4	流通科学大学	一般ドライバーと運送業者のマッチングアプリの提案	現在起こっているトラックドライバーの不足の解消するために一般の人をドライバーとして荷物の配送をしてもらう。そのために一般の人と運送業者をつなぐアプリを提案。
5	東京都市大学	構内物流の効率化	パレット積み倉庫において、日々の出し入れを勘案し、倉庫内作業の効率化を向上するために、合理的なレイアウトとフォークリフトの適正台数をシミュレーションする。
6	大阪産業大学	物流現場における外国人技能実習生に関する調査	物流現場において外国人技能実習生が技能修得に向けて励んでいる。それら技能実習生に関する調査を行い、課題や今後について考察する。
7	広島商船高等専門学校	若年労働者の視点から考えた物流業界の労働力問題	物流業界の労働力不足について、男性・女性・外国人などの若年者アンケートにより、物流業界と若者の意識の差について考察する。
8	東京海洋大学	データ分析に基づくピッキング業務の改善	実在する物流企業におけるピッキング業務を対象に、在庫データや入出庫データを用いた数値分析、さらにはシミュレーション等のOR技術を用いた改善策について報告する。
9	城西大学	過去十年間企業転入1位の埼玉を支える物流	東京から近い割に地価が安い土地が確保しやすいことに加え、圏央道などの高速道路網の整備が進んでおり、埼玉県は過去10年間企業転入数全国1位を誇っている。その埼玉県を支える物流について、県内企業へのインタビューを中心とした調査・分析を行い、強みの整理および効率化策等の提言を試みる。
10	神奈川大学	物流危機に対応したラストマイルの新たな配送方法 -ギグワーカーの活用-	ネット通販のラストマイルでは宅配の配達人員の不足が発生している。こうした現状を打開するために、我々は「ギグワーカー」の活用に注目した。これは、労働者がアルバイト・パートや派遣業のように固定の労働時間にとらわれず、ちょっとしたスキマ時間を使い、気軽に仕事をするという働き方をして配送するものである。このギグワーカーを活用し、配達員の不足を補うこれまでにない新たなラストマイルの配送の仕組みを提案する。
11	流通経済大学	ドライバー不足解決のための外国人労働力受け入れ対策	トラック運転者不足が一段と厳しくなっている。採用・募集しても、応募すらない、と言う状況もきかれる。これを解決するための対策の一つに外国人をドライバーとして活用することが考えられる。現在の活用可能な内容とこれからのあり方を検討・提案する。